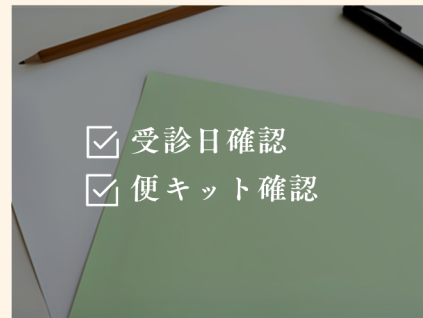


はじめにお読みください

健康診断のてびき 健診の流れを分かりやすく解説！

ご自身の健康診断の内容と照らし合わせながら流れを確認してください

01 問診票 到着



到着したら
早めに開封！

分からないことは
お問い合わせを

Start!

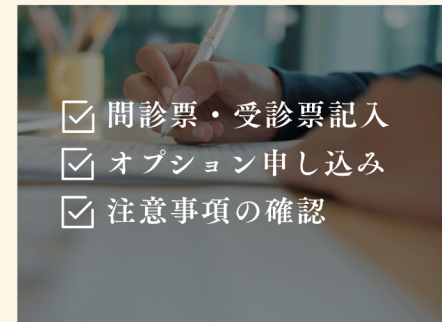


2週間前を目安に
問診票・受診票を発送

【封筒の中身の確認】

- ① 名前・受診日・受診時間の確認
- ② 便のキットが入っているかを確認
(大腸がん検査のある方のみ)

02 記入 申込



問診票・受診票の記入と
オプションを選んで予約

問診票・受診票にはあらかじめ内容を記入してください。注意事項や、病歴や薬を飲んでいる方で不安がある方は事前にお問い合わせください。オプションは個人で自由に選べます(支払方法は相談可能)

胃のエックス線検査がある方

以下の内容に当てはまる方は安全確保ができないため検査ができません。前日までにご連絡ください

- ☑ 1年以内に開腹手術・腹腔鏡手術を受けた方
- ☑ 妊娠中・妊娠の可能性がある方
- ☑ 腸閉塞になったことがある方
- ☑ バリウムのアレルギー・明らかな体調不良があった方
- ☑ 検査台の上で安定して立つ・回転することができない方
- ☑ 高血圧だが治療をしていない方

体調不良・絶食不十分・バリウムを飲めない・その他当院の基準(血圧が180/120以上など)に該当する場合、医師の指示で検査を中止することがあります。ご了承ください。なお、血圧の薬は当日も内服できます。来院の2時間前までに少量の水で内服してください



大腸がん検査がある方



- 採便は4日前から可能です
- 保管は冷蔵にてお願いします

便のキットをなくされた場合には
有料で再度お渡します

お問い合わせ

健診センター 0567-26-7328

- 平日9:00~17:00
- 土曜日のご連絡は受診票記載の電話番号へ
- ガイダンス「1」を押してください

03 食事と 事前検査



絶飲絶食時間の確認
血液検査の方も時間に注意

腹部の検査がある方は以下の表を参照

	午前の健診	午後の健診
前日夕食	○ 21時まで	○ 通常通り
当日朝食	⊘ 食べない ※薬は健診後	▲ 半分の量
当日昼食		⊘ 食べない ※薬は健診後
検査 2時間前 まで	水のみコップ半量まで飲んでも問題ありません。糖尿病の薬は主治医とご相談ください	

※薬についての詳細はQRコードより確認

食事についての
詳細案内はこちら



- 腹部の検査は下記検査となります
- 胃エックス線検査(バリウム)
- 胃内視鏡検査
- すい臓ドック
- 腹部超音波
- 腹部CT

04 健診 当日



マイナ保険証(資格確認書)
採便・問診をお持ちください

受付前の発券機で順番を取り待ちにてお待ちください
忘れ物が多いため、アクセサリ類は外して来てください



CHECK! ⚠

体調不良時はお電話で健診日の変更を

- ① 体温が37.0度以上、1週間以内に発熱がみられた
- ② 発熱はないが体調がすぐれない
- ③ 1週間以内に発症した咽頭痛(喉痛)咳・痰がある
- ④ 上記①~③の症状を抑える薬を内服している

05 結果 送付



3週間程度したら
結果を発送

結果発行は検査内容によって前後することがあります
早めの病院受診が必要な方はお電話にて連絡する場合があります

左の体調不良に当てはまる方は
受診日前にお電話を!



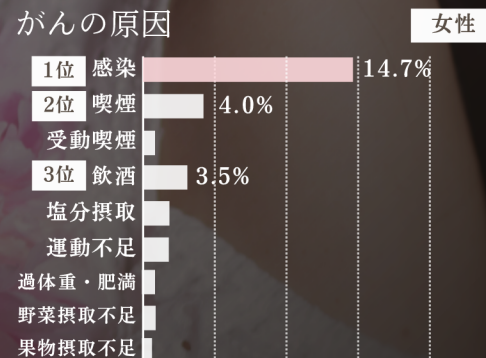
特定保健指導(健康サポート)について

当院ではメタボリックシンドロームのリスクが高く、生活習慣の改善が必要な方に、健診当日に特定保健指導を無料で行ってまいります
対象と判断された方は、保健師・管理栄養士から生活習慣についてアドバイスを受けることができます
※対象となる健保組合のみ

01 日本人における女性のがんの原因の1位は感染とされています

子宮頸がん検査は20歳を超えたら2年に1度の検診が推奨されます

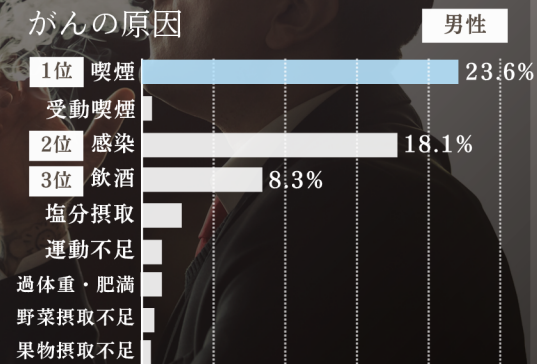
出典) 国立がん研究センターがん情報サービス「科学的根拠に基づくがん予防」



02 日本人における男性のがんの原因の1位は喫煙とされています

肺がんを早期発見することで肺がんを治すことができます

出典) 国立がん研究センターがん情報サービス「科学的根拠に基づくがん予防」

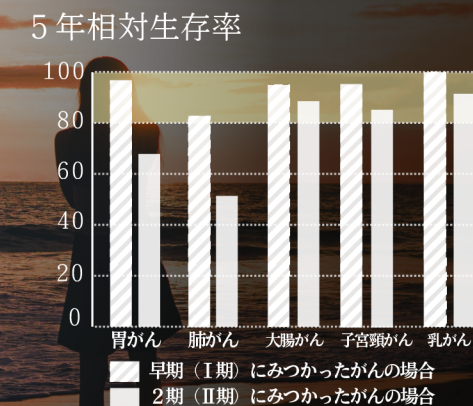


03 早期発見によって多くのがんが治ります

がん検診のメリットとして、胃がん・大腸がん・子宮がんは90%以上、肺がんは80%以上が治ります※1

※1ここでの「治る」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率はがん以外の原因で亡くなる人の影響を取り除いた数値です。

出典) 前がん協加盟施設における5年相対生存率(2011-2013年診断症例)



がん検診にはデメリットもありますが、利益(メリット)の方が多いです

がんから命を守るためには、がん検診を受けることがとても重要です

がん検診の不利益(デメリット)

出典) 第24回がん検診のあり方に関する検討会より(平成30年5月24日)

- がん検診でがんが100%見つかるわけではないこと(偽陰性)
- 結果的に不必要な治療や検査を招く可能性があること(偽陽性)
- 生命予後に影響しない、微小で進行の遅いがんを見つけてしまうこと(過剰診断)
- 検査に伴う偶発症が起こりうること

科学的に「がんを見つけられる」と国が認めた検査が「がん検診」です。医療は進歩しています。ぜひ、がん検診や健康診断を受診しましょう！

Column

子宮にまつわる病気

子宮体部・卵巣
更年期頃から異常が多くなる部位で経膈エコーや骨盤MRIにて検査が可能です。40歳頃からは子宮体部の検査も必要です

子宮頸部
医師採取による子宮頸がん検診は精度が高くおすすめです。比較的若い世代に発症することがあるため20歳頃からは子宮頸がん検診を受診しましょう

NEW
ヒトパピローマウイルス検査 ※子宮頸がん検診併用 3,850円

子宮がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)を調べる検査です。がん化しやすい型に罹患しているか分かります

胸部CT 7,700円
肺がんを確実に見つけるための検査です

すい臓ドック 29,700円
見つけにくいすい臓のがんに特化したすい臓のMRIと血液検査による腫瘍マーカーのセットになります

Column

最も治りにくいがんは？

がんの5年相対生存率

がん種別	5年相対生存率
前立腺	90%
全部位	64.1%
すい臓	8.5%
肺	8.5%

(がんの全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告 [国立がん研究センターがん対策情報センター, 2020])

すい臓は、胃の後ろに位置するため、見つかりにくく、さらに、症状が出にくいため早期発見が難しいがんです。見つかったころには手遅れなことが多いがんです

Cancer screening 最新がん統計から見るがん検診の大切さ Column

■ がんの原因の多くは「感染症」と「喫煙」

がんは日本人にとって最も身近で重大な病気の一つです。男女ともに生涯で二人に一人が、がんにかかるといわれていますが、その原因や背景は遺伝よりも、生活習慣が大きくかかわっていることが分かっています。

最新の統計では、日本人女性のがんの原因の第一位は「感染」であり、特に子宮頸がんはヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が大きな要因であることが分かっています。二十歳を過ぎたら定期的な子宮頸がん検診が勧められています。

一方、男性において最も大きな原因は「喫煙」で、肺がんの大きなリスクとなっています。同時に胃がんの原因の多くを占める「ピロリ菌」感染も男性のがんの第二位の原因となっています。

■ 最近の統計から読み解く「がん検診」

がん検診の重要性は、治療の成績にも現れています。たとえば胃がん・大腸がん・乳がんでは、早期に見つかれば9割以上が治るとされています。肺がんでは、早期発見できれば8割に近い生存率が期待できます。つまり「がんは早く見つければ治る病気」に変わりつつあるのです。

CTやMRIをはじめとした画像検査や内視鏡検査の進歩によって、小さな段階でがんやその前段階の異常を見つけることが可能になっています。ただし、がん検診にはメリットと同時に注意点(デメリット)もあります。すべてのがんが必ず見つかるわけではないこと、あるいはごくゆるやかに進行するがんを見つける過剰診断のリスクなどです。

それでも科学的に「がんを見つけられる可能性を高める」のが検診の役割であり、多くの命を救ってきたこと、統計から見る情報によって、がん検診を受けることが命を守ることにつながるのは事実です。

がん検診は、受けることで「がんの不安から解放される安心感」を得られると同時に、もしも見つかった場合にも「早く治療に取り組めるチャンス」を与えてくれます。女性では感染症が、男性では生活習慣(特に喫煙)が大きな要因となることを踏まえ、それぞれのリスクに応じた検診を受けることが大切です。

健康診断やがん検診は、自分の未来のためだけでなく、大切な家族の安心のためにも欠かせない習慣です。定期的な検診を通じて、がんを恐れるのではなく、備えと安心を手に入れていきましょう。